募集馬の手術歴等について

日本競走馬協会主催のセレクトセールでの公表事項である下記(1)～(8)の項目にならい、募集馬の出資募集開始前の手術歴等について、下表のとおりご案内いたします。

なお、該当する募集馬につきましても、厳しいチェックのうえ募集馬リストに名を連ねているものであり、他馬同様、順調に育成されていることを申し添えます。

※出資募集終了までの期間中に新たな該当事項が確認された場合は、順次公表いたします。

(1)悪癖(さく癖、旋回癖、熊癖)
(2) 目の異常(白内障、黒内障、緑内障)、月盲
(3) 上気道疾患に対する外科手術歴
(4) 開腹手術歴
(5) 骨折に起因する外科手術歴
(6) 関節内骨関節疾患に対する外科手術歴
(7) 腱及び靭帯(支持靭帯)の切断もしくは切除手術歴
(8) 去勢

(2026年9月14日現在)

No.	募集馬	悪癖	手術歴	
3	クライミングリリーの25		2026/9/11	左後肢膝ボーンシストのスクリュー挿入手術 両後肢球節の骨片除去手術

【用語説明】

■ボーンシスト

主に膝関節を構成する大腿骨の内側顆に発生する骨病変で、関節の軟骨の下にある骨が発育不良を起こすものです。栄養摂取や成長速度のアンバランスなどの素因がある仔馬において、関節内の骨の一部に過度の物理的ストレスが加わることで発生すると考えられています。跛行が認められる場合は、運動や放牧を中止し、しっかり症状が消えるまで休養させることが必要で、跛行の程度が重い場合は、全身麻酔下でシストの掻破手術や、シングルスクリュー挿入手術を行います。3ヶ月から6ヶ月程度の休養を経て騎乗運動を再開することになりますが、一定の調教進度に達した時点で跛行を呈さないものに関しては、良好な予後が期待されています。